

## 企業トップインタビュー

TOP INTERVIEW

メーカー

総合電機

大事なのは、何が本当にやりたいかを考え抜く努力。



アズビル株式会社

代表取締役社長

曾禰 寛純

時代を先取りするかのように風力エネルギーを論文のテーマに私がエンジニアを志したのは、やはりエンジニアであった父の影響が少なからずあると思っています。ただし、父は化学系なので、それならば自分は工学系だと(笑)。工作や絵が好きでしたから、目に見えるものづくりに魅力を感じたというのも理由です。また、自然や動物にも興味があったため、生物のメカニズムをもとに生まれたオートメーション(制御工学)を専攻して学ぶようになりました。

大学院の修士論文では、羽根の角度を最適に制御することで効率のよい風車を作る試みに取り組みました。今は違って、風力エネルギーが注目されていない時代でしたので、ずいぶん先取りしたテーマに挑んでいたものだと思います。

アズビル(当時は山武ハネウエル)に入社するきっかけになったのは、大学院での担当教官だった森永先生の言葉。「工場やプラントの制御は面白いぞ」と勧められるうちに、オートメーション関係の企業を受けようという気持ちになったのです。出身地の近くに会社があったことにも、どこか縁のようなものを感じました。

入社後まもなく、大規模プラントの設計やグローバルメジャー企業の仕事などを経験。そこで得られたのは、問題点と解決のヒントは必ず現場にあり、物事はグローバルで動いているという実感で、私にとって貴重な財産となりました。

大学時代に行う勉強と実験は目標に挑戦して自分を磨く体験  
2006年に創業100周年を迎えた当社

は、「世界に通用するようなオートメーション企業」を新たな理念に掲げました。2012年から縁あって私が現在の職に就き、体制の変更に伴って社名をアズビルに。私自身の経営哲学は「人を中心としたオートメーションを探究すること。技術革新による無人化や人が機械に合わせるという発想ではない、理想的な「人と技術のあり方」をこれからも模索していきます。

東工大での勉強や実験は、ある目標に挑戦して自分を磨ける貴重な体験と言えます。有意義な出会いや気づきのチャンスを活かし、楽しんでほしいですね。

今後の社会をつくる人材に求められるのは、多様な価値観のなかで、協働して成果を出していける能力。その力を手にするために大事なのは、「何がやりたいか、やり続けたいかを考える」努力だと思います。

## アズビル株式会社

採用情報はP60に掲載▶

事業内容 計測と制御の技術をもとに、国内外でビルディングオートメーション事業、アドバンスオートメーション事業、ライフオートメーション事業を展開。

設立 1949年8月22日

資本金 105億2,271万6,817円

本社 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号(東京ビル)

代表者 代表取締役社長 曾禰寛純

売上高 2,484億1,600万円(2014年度実績)

従業員数 5,247名(2014年3月31日現在)

## PROFILE

1955年1月16日、神奈川県生まれ。1979年、東京工業大学大学院制御システム工学専攻修了。同年、山武ハネウエル株式会社(現アズビル株式会社)入社。マーケティング部長、執行役員経営企画部長などを経て、2012年4月より現職。大学時代は登山と音楽に没頭し、バロック音楽のアンサンブルを結成。現在も同じメンバーで演奏会を行う。

